

令和4年度 事業計画

社会福祉法人 中山梅寿会

【施設部門】

- ・指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園
- ・指定短期入所生活介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園
- ・短期入所生活介護・介護予防事業所 野中

【デイサービス部門】

- ・指定通所介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園
- ・指定通所介護・介護予防事業所 佐礼谷
- ・指定通所介護・介護予防事業所 野中

【在宅部門】

- ・指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園
- ・在宅介護支援センター なかやま幸梅園

【ケアハウス部門】

- ・ケアハウス なかやま幸梅園

【障がい部門】

- ・地域活動支援センター くりのみ
- ・指定相談支援事業所 くりのみ

【調理部門】

- ・なかやま幸梅園 厨房

【看護部門】

【訪問介護部門】

- ・指定訪問介護事業所 なかやま幸梅園

【基本理念】

日本一あったかいホームを目指します

【基本方針】

1 個人の尊厳

一人の人間としての個性、主体性、可能性を尊重しかけがえのない存在として大切にします

2 信頼性、安全性、安心感の確保

職員自らの専門的役割を自覚し、資質の向上を図ることによりサービスを充実し、信頼性を高めるとともに利用者の安全を守り安心して暮らすことができる環境の確保に努めます

3 地域との連携

地域との交流、連携を通じ、地域福祉の拠点として共に支えあう社会の構築を目指します

【心構え】

- あいさつをしよう
- 思いやりの気持ちをしっかり持とう
- 入居者、利用者への言葉遣いに気をつけよう
- 自分の価値観を押し付けないようにしよう
- 中山梅寿会職員として責任ある行動をとろう

【運営方針】

1 個別援助

- ① 基本的な生活にかかせない3大介護「食事」・「排泄」・「入浴」において、個別ケアに取り組み、当たり前の生活と一人ひとりの生活習慣を大切にした支援を行う。
- ② 利用者の心身状況及び生活課題等のニーズを把握すると共に、各関係機関等と連携を図りながら、利用者及び家族の希望に沿った安心できるサービスを提供する。

2 機能訓練

- ① 利用者の自立を支援し、機能の維持向上を図るため、機能訓練を計画的かつ、継続的に実施する。
- ② 利用者が有する能力を最大限活用しながら意欲的に活動できる訓練プログラムの開発及び、アクティビティ（集団的に行われるレクリエーション、創作活動等の機能訓練）の機能強化を図る。

3 健康管理

- ① 利用者の心身状況を確認し、本人及び家族、医療機関と連携を図り、健康維持に努める。生活環境の変化による体調不良、混乱を防止するために、必要な健康管理体制を整え、適切な対応を行う。
- ② 感染症については、感染症マニュアルに沿った適切な対応を行う。

4 医療的サポート

- ① 利用者の健康に対する不安を取り除き、安心して過ごせるよう、看護・介護が一体となって、本人及び家族、医療機関等と連携を図り、健康管理を行う。

5 環境整備

- ① 生活場所の変化による混乱が生じる可能性があることを説明し、情報収集することにより、できる限り在宅生活に近い環境の整備を行う。また、利用に際しては、事業所での居室環境について説明を行い、同意を得る。

6 リスク管理

- ① 利用者が安全に過ごせるよう事故予防に努め、事故発生時の適切な対応及び再発防止を行う。

7 防災対策

- ① 火災をはじめ、地震、風水害等災害の発生に備え、緊急時における利用者の生命と安全を確保するため、自主防災活動及び、地域防災組織との連携強化を図る。

8 職員教育と連携

- ① 質の高いサービスを提供するために、自己のスキルアップに努め、資質の向上を図る。
- ② 医療と介護の継ぎ目のないサービスを効果的に利用できるような観点から、入院時や退院・退所時に病院等と連絡を取り合い、利用者に関する情報共有を行う。また、障がい福祉サービスの利用者が、介護保険に移行する時やその後も家族を含めた適切なケアプランが作成できるように、障がい福祉制度の相談支援専門員との連携に努める。

9 地域交流

- ① 地域における行事等への参加や、地区住民との交流、ボランティア等の受け入れを通じて、地域コミュニティ機能の充実を図る。

10 地域貢献

- ① 関係機関と連携して、地域社会の中で生活していくための課題を発見し、地域における様々なニーズに柔軟に対応していく。
- ② 地域の一員である自覚を持ち、理解と信頼が得られるように努めると共に、地域福祉（障害）の拠点として開かれた施設を目指す。
- ③ 日頃から地域との関係作りに努め、民生委員、高齢者見守り委員、地域住民との交流を持ち、各事業所が協力しながら地域貢献を行う。

【法人目標】

1. コンプライアンスの徹底を図り、健全な社会福祉法人を継続する。
2. 利用者に対し人権尊重を基本に、サービスの質の向上を図る。
3. 身体拘束ゼロ運動の促進、リスクマネジメント等に積極的に取り組み、利用者また家族との信頼関係の強化を図り、処遇の向上に努める。
4. 各事業所のサービス利用者の満足度を高める取り組みを継続し、利用者増加に繋げ、経営の安定を図る。
5. 地域から「なにを必要」とされているのか情報収集し、行政と連携を図り地域福祉の推進及び公益的な取り組みを行う。
6. 将来的な経営資源(ヒト・モノ・カネ)を把握して収支の良化を図る。
7. 業務のIT化と介護・福祉用具、ロボット機器等の導入を推進し、若い世代からシニア世代(60歳以上)まで、介護現場で輝ける環境を整え、業務の負担を軽減する。また人材の確保に向け、各種情報サービスを見極めて利用する。
8. 新型コロナウイルスとうまく共存しながら、新たなサービスを提案・提供する。
9. BCP計画の再検討において、地域各種組織との連携強化を図り、各事業所の災害・防犯対策を強化する。
10. 新規事業の検討を積極的に進め実現化する

【部門別目標及び事業所別 年度取り組み】

施設部門

【特養目標】 利用者の笑顔あふれる施設づくり

指定介護老人福祉施設 なかやま幸梅園 （定員：30名）

- ① 入居率 99.0%以上の達成
- ② 個別ケアの機能強化に向けて、定期的なアセスメント及び、プラン実施状況の確認、モニタリング（評価）を踏まえての計画の見直し等、PDCAに沿ったサービス提供を行うと共に、不適切ケアの解消に向けた体制強化に取り組む。
- ③ タブレット端末の導入により、デジタル化、ネットワークの構築等、IT化を推進し、業務の省力化、効率化及び、コスト削減を目指す。
- ④ 入居者全体の重度化や容態の急変等、医療ニーズが多様化する中で、日頃からの健康把握や僅かな体調変化等の対応及び、ターミナル期での「介護・医療」の連携強化を図る。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染予防、防止等については継続して対策の強化に取り組むと共に、家族や地域住民等との交流の機会を確保し、併せて家族会活動の再開に向けた準備を行う。

【短期入所共通目標】 在宅生活維持に向けた適切なサービス提供

- ✧ 利用者一人ひとりが安心して在宅生活が継続できるようサービスを提供する。
- ✧ 心身状態や介護方法等の情報を共有し、希望に沿ったサービス提供に繋げる。
- ✧ 医療依存度の高い利用者への適切なサービス提供体制の構築を図る。
- ✧ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。

指定短期入所生活介護・介護予防事業所 なかやま幸梅園 （定員：10名）

- ① 稼働率目標 96%
- ② 居宅サービス計画を基本として、日常生活の様子や健康状態を観察しながら、生活課題に対するケアを中心に生活機能の維持、向上に繋がるサービスを提供する。
- ③ 体調が不安定な状態やターミナル期等の利用希望に対し、主治医等と連携して柔軟な受け入れ体制を維持すると共に、災害発生時等にも地域の福祉施設としての機能の推進を図る。

基準該当短期入所生活介護・介護予防事業所 野中 （定員：6名）

- ① 稼働率目標 96%
- ② 利用者の健康管理を適切に行うと共に、残存機能の維持を図ることで、在宅生活の継続に繋げる。
- ③ 慣れた環境で安心して生活ができるよう、併設している通所介護事業所と一体的にサービスを提供する。

デイサービス部門

【デイ共通目標】身体機能の維持・改善、利用者の笑顔あふれるデイサービスへ

- ◇ 利用者一人一人の特性等に合わせたサービスの提供をする。
- ◇ 地域住民との交流を図り、地域との「なじみの関係」を築いていく。
- ◇ 災害時に的確な判断で迅速な行動がとれるよう統一した認識と防災意識を深める。
- ◇ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。

指定通所介護事業所・介護予防事業所 幸梅園 (定員：30名)

- ① 利用者数の目標 延べ 580 人/月 1 日の平均利用者数 22.2 人 稼働率 74%
(稼働日：313日)
- ② 利用者の介護ニーズの多様化に対応するため、サービス内容について検討し、個々に合ったケアができるよう努める。
- ③ 関係機関と連携をとりながら、自立した生活を営むことができるよう必要に応じた機能訓練を実施する。

地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所 佐礼谷 (定員：18名)

- ① 利用者数の目標 延べ 320 人/月 1 日の平均利用者数 12.3 人 稼働率 68%
(稼働日：313日)
- ② 地域の医療機関と連携強化を図り、在宅生活が継続できるよう支援する。
- ③ 生きがいのある生活が送れるよう、個々の趣味や能力に応じた活動を提供する。

地域密着型通所介護事業所・介護予防事業所 野中 (定員：16名)

- ① 利用者数の目標 延べ 300 人/月 1 日の平均利用者数 9.9 人 稼働率 62%
(稼働日：365日)
- ② 利用者の健康管理を適切に行うと共に、残存機能の維持を図ることで、在宅生活の継続に繋げる。
- ③ 地域行事等への参加をすることで、多くの関りを持ち「なじみの関係」を築く。また、広報誌等により活動報告をすることで、事業所への理解を深めてもらえるよう、情報の発信をする。

在宅部門

【居宅目標】居宅サービスの計画充実と評価

- ◇ 利用者・家族が今まで通り安心してサービスが利用できるように、介護保険改正に適切に対応する。
- ◇ 達成度を毎月評価し、計画見直しが必要な場合には担当者会議へ繋げる。

指定居宅介護支援事業所 なかやま幸梅園

- ① 課題分析を充実しケアプランに反映させる。
- ② 災害時にも活用できるようにアセスメント票を作り変える。

【在支目標】 相談窓口と地域支援の充実

- ✧ 伊予市地域包括支援センターの窓口機関の委託を受け、中山町において支援を必要とする高齢者及び家族などの相談に対応し、必要に応じて関係機関との連絡調整や適切なサービスに繋げる等の支援を行う。
- ✧ 地域ケア会議、一般介護予防、家族介護教室、認知症相談、高齢者配食サービス事業、自主事業「がんばる会」などの支援及び実施する。

在宅介護支援センター なかやま幸梅園

- ① 第6回中山町健康調査が円滑に実施できるよう、関係機関と連携を取りながら準備を進めていく。また、調査中に対応が必要なケースがあった場合は、早期受診やサービス導入に繋げる。
- ② 感染症の状況を見ながら、サロン等の地域における自主的な介護予防活動を支援する。また、自主グループの結成に向けて引き続き地域住民と連携をとりながら検討する。
- ③ がんばる会の新規利用者増につながるよう周知活動を行う。独居や高齢者世帯の方へ個別で説明に伺う。

ケアハウス部門

【ケアハウス目標】 ケアハウスでの自立生活支援強化

- ✧ ケアハウスでの自立生活が営めるよう、定期的に関係機関と連携を図り、自立支援に向けた体制作りを努める。必要に応じて各種福祉サービス等を導入し、住み慣れた地域での生活が継続できるよう支援を行う。
- ✧ 適宜、入居者の状態及び状況を確認し、体調変化等の早期発見と対応を図る。

ケアハウス なかやま幸梅園 (定員：15名)

- ① 関係機関と連絡調整等を行い、入居待機者の確保に努める。また、入居待機者の状況について定期的に連絡を行うと共に、空室が生じた際には速やかに入居ができるよう対応する。
- ② 定期的に健康観察を行い、体調の安定に繋げると共に、服薬管理が必要な利用者については、適切に服薬できるよう支援を行う。
- ③ コロナ禍においても、その人らしい生活の実現に向けて柔軟に対応し、ストレスの緩和、生きがいに繋がる支援を行う。
- ④ 新型コロナウイルス感染状況等に配慮し、タブレット端末や、スマートフォン等の機器を活用した面会対応等を行う。

障がい部門

【くりのみ目標】 障害福祉サービスの充実

- ✧ 地域活動支援センターとして、基礎的事業と強化事業を通じた社会参加の機会と居場所として機能を担う。また、交流会やバザーを通じた住民との交流や事業の啓発、地域貢献をする。
- ✧ 一般相談、障害児相談支援、特定相談、地域移行、地域定着等の提供。ライフステージに合わせ、その人が希望する生活に近づくよう必要なサービスの提供や制度の利用支援を行う。
- ✧ 伊予市障がい者計画・伊予市障がい福祉計画・障がい児福祉計画の推進に寄与する。

地域活動支援センター くりのみ

- ① 75歳になる登録者に対して、最終日まで転倒に気を付け元気で安心して利用できるように支援する。また、年間利用者が2200人を切らないよう、定期的な利用継続に向け支援する。
- ② 新規利用者2名を目標に関係機関等に相談する。
- ③ 他事業所を参考に新規作業を取り入れ作業内容の充実。強化事業に調理だけでなく、創作活動を取り入れる。

指定相談支援事業所 くりのみ

- ① 令和3年度中の報酬改正内容を再度見直し、4年度から義務化される事業運営に取り組む。
- ② 障がい児、障がい者ともに福祉サービスに代わる資源を活用した支援を検討する。

調理部門

【厨房目標】 喜びのある美味しい食事の提供と栄養ケアマネジメントの実施

- ✧ 行事食・イベント食を計画的に実施し充実を図る。
- ✧ 入居者1人1人の状態を把握し、課題を抽出し改善に繋げる。また他職種と連携し、施設ケアプランに基いた栄養ケアマネジメントの実践及び評価・判定を定期的に行う。

総合福祉施設 なかやま幸梅園 厨房

- ① 季節のものや行事食、地元で親しまれている食材を取り入れ、利用者個々に食べる喜びとQOLの維持向上に繋がるよう、食事内容の工夫を心掛ける。
- ② 厨房会を定期的で開催し、より良い食事の提供ができるように食事委員会と連携し、意見交換や食事に関わる連絡調整を行う。
- ③ 自然災害時に備え、利用者・職員を含む非常食のメニューに沿った備蓄品を確保する共に、消費期限をチェックし、在庫管理を行う。
- ④ 大型調理機器等については、経年劣化も踏まえつつ、日常的なメンテナンスの実施と更新時期を見据えての準備を進める。

看護部門

【看護目標】健康観察と医療支援の充実

法人全体看護

- ① 入居者により良い医療支援が提供できるように、日常生活の中で健康観察を行い、日々の小さな変化を見落とさず早期に異常を発見する。異常時には、嘱託医に報告・相談し的確な判断のもと、早期治療が行えるように家族を含め支援を行う。
- ② ショートステイ・デイサービス等、利用者には、家族・担当介護支援専門員等と連携をとり、安心してサービス利用できるよう支援を行う。また、緊急時には家族、主治医と連携し、スムーズな対応が行えるように支援を行う。
- ③ 職員の健康管理、感染対策などの助言、アドバイスをを行い健康で継続的に就業できる支援を行う。
- ④ 感染症等に関する早期情報収集と共有、ならびに関係機関との連携をスムーズに行うことで利用者、職員等を支援する。
- ⑤ 服薬管理を徹底し、疾病の悪化予防及び医療面でのサポートなどを行う。

訪問介護部門

【訪問介護目標】 スムーズな事業所移行と運営

- ◇ 他訪問介護事業所から新規開設の当事業所への移行に伴い、利用者・家族が今まで通り安心してサービスが利用できるように、介護保険法等関係法令に適切に対応する。
- ◇ 地域住民、関係機関へ新規事業開設の周知を図る。

指定訪問介護事業所 なかやま幸梅園

- ① 利用者数の目標 延べ240人/月 1日の平均利用者数8人
(稼働日：243日)
- ② 利用者の健康管理を適切に行うと共に、残存機能の維持を図ることで、在宅生活の継続に繋げる。
- ③ 施設内外の研修に参加し、職員のスキルアップに努める。